

# マスター神山順のとろみCAFEが 京都新聞に掲載されましたぁー!!

2025年(令和7年)8月21日木曜日 京都新聞丹波版

## 医師がマスター カフェで交流

南丹・日吉の薬局で月1回



誤嚥予防のため、飲み込む力を鍛える体操を伝える  
神山医師(右)と、参加者たち(南丹市日吉町・日吉ゆ  
う薬局コミュニティールーム)

現役医師がマスター(主人)を務めるカフェがある。  
南丹市日吉町の薬局で毎月1回開かれる「とろみカ  
フェ」。高齢者の誤嚥を防ぐとろみ剤を広めようと始まっ  
たカフェは、医師自ら伝授する誤嚥防止の体操を参加者  
みんなでした後、ゲームなどを楽しむ住民交流の場にな  
っている。次回は8月26日にある。

## 誤嚥防止体操やゲーム つながりの場に

JR山陰線鍼灸大学前駅の近くにある  
「日吉ゆう薬局」。集会所のようなコミ  
ュニティールームに毎月第4火曜日、地  
元住民ら10人ほどが集まってくる。  
とろみカフェは、近くの明治国際医療  
大付属病院で外科部長を務める神山順医  
師(60)がマスターとなり、2019年  
に始まった。  
高齢者の死因の上位に入る肺炎。それ  
を引き起こす誤嚥の予防策を周知しう  
と、神山医師が企画した。  
神山医師は解説する。「若い頃は自然  
にできた食道と気道の切り替えが加齢で  
難しくなり、誤嚥が生じる。食べ物が誤  
って気道に入ると、食品に付いた細菌が  
原因で誤嚥性肺炎になる恐れがあり、命  
にかかわる時もある」  
誤嚥を防ぐには、飲み物にとろみを付  
けるとろみ剤の活用が効果的という。カ  
フェでは、神山医師がコーヒー(一杯1  
00円)などでもてなし、とろみ剤を入  
れて試すこともできる。  
毎回2時間ほどのカフェでは、誤嚥を  
防ぐため、飲み込むのに必要などの筋  
肉を鍛える体操も恒例。ゲームなどもあ  
り、7月は、目隠しをしてお多福の顔を  
つくる「福笑い」などで盛り上がった。  
参加していた仲川明子さん(51)は「お  
しゃべりが楽しい。笑って、体操して、  
ふれあえる。先生からためになる話も聞  
ける」と喜ぶ。神山医師は「誤嚥を防ぐ  
だけでなく、このカフェが居場所になり、  
つながりが生まれれば」と話す。  
毎月第4火曜(祝日は除く)の午後1  
時〜3時。予約不要。詳細は同薬局07  
71(72)5001。

明治国際医療大学附属病院で外科医をしながら、約6年前から  
毎月1回営業しているカフェのコーヒー豆は、スター☆☆☆☆  
からその時一番仕上がっている豆を購入し、マジで煎れていま  
すのでぜひご来店をお待ちしています(笑) マスター神山順